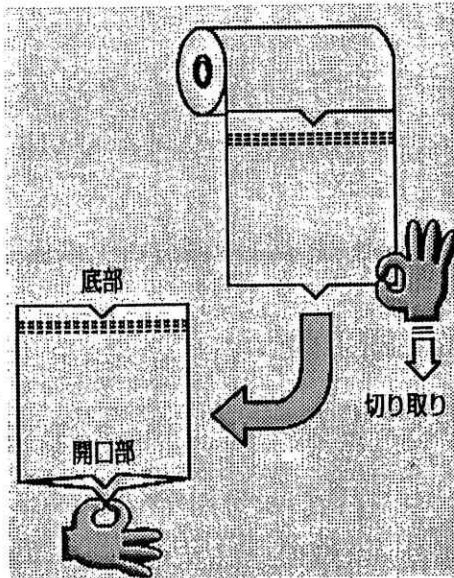


### 易開封性「ロール型ポリ袋」

「アイリップロール」

#### 量販店に加え用途拡大の公算



切り離すと開口部が凸状に

袋の切れ目部分を三角形に成型することで易開封性を実現した新しいポリ袋が注目されている。シート状に連なった袋をミシン目に沿って一枚ずつ切り離して使用するロール型ポリ袋はこれまで、袋の上下が判別しづらく指先がすべって開けづらいなどの難点が指摘され続けていたが、話題

の開発製品はこのネックを解消した。利用頻度の高い量販店の他、工業系企業からの引き合いも増加し始めており、今後の用途拡大に期待が膨らんでいる。

商品名「アイリップロール」(特許取得済)。普段はコンサルタントとして活躍する池田高男氏と伊藤通朗氏が考案した。ロール型ポリ袋のミシン目中央に三角形の切り込みを成型し、切り離すと開口部が凸状になるよう工夫がミソ。上下の別がわかりやすく、凸部を指でこすり合わせるだけ

で簡単に開封ができる。切り込みは丸型や四角などさまざまな形状の試作を重ねた結果、最も開封性の良かった三角形に確定した。

これまで大手スーパー数社に提案書を持ち込んで販促を練り広げ、確かな手応えを得てきたが、最近では鉄道会社整備部からの納入依頼も舞い込む。細かいパーツを袋分けする際、軍手をしたままでも開封しやすい特性が評価されたためだが、今後採用用途・分野とも拡大する公算も高い。受注量の拡大とともに製造

基盤も強化し、量産体制の拡充にも取り組む方針だ。